

●高槻市子どもみまもりつながり訪問事業(厚労省支援対象児童等見守り強化事業)
 新型コロナの影響により、子どもの見守り機会が減少し、児童虐待のリスクが高まっていることから、高槻市域において未就園児等(保育所等に通っていない原則2歳児～就学前の子ども)のいる対象家庭を訪問するなどし、状況の把握や学習及び生活支援等を通じた子どもの見守りを実施する。
 (対象:高槻市域(人口約35万)、1エリア650人×2エリア・通年事業)

●むすびえ休眠預金事業「居場所の包括連携によるモデル地域づくり(全国)」
 「つながる・食べる・学ぶ・生活を支える」をキーワードにした①第三の居場所ネットワーク、②フードパントリー、③学習支援、④大学、元保育所OG等と連携した専門職・担い手の育成と支援対象児童等見守り強化事業を並行して実施することで市域に官民連携による面(セーフティネット)を構築する。また、実践による知見を日本全国に発信する。(2021～3か年事業)

